

(6) アンテナ、ロープ、支柱、サイドバンド外側のネットに触れたとき (写真⑩)

- ①まず、構えた姿勢で判定を行い、素早く姿勢を正して当たった方のアンテナを指し、頭上でフラッグを左右に一往復振る。(フラッグを持つ手が、顔の前に出るように)



(1) 旗の位置：外

⇒



(2) 旗の位置：中

⇒



(3) 旗の位置：外

写真⑩

- ②視線を主審に向けて、アイコンタクトをとる。

- ③主審が反則の種類のスグナルを示し始める時に、姿勢を戻す。(写真①)

(7) その他

- ①サーバーのフットフォールの判定

→ 該当するラインを指し、頭上でフラッグを左右に一往復振る。(写真⑩)

- ②ボールが天井に当たった場合の判定

→ 天井を指し、頭上でフラッグを左右に一往復振る。(写真⑩)

- ③ボールが床に触れたかどうか(パンケーキ)の判定

→ 自分側のコートにボールが触れたことが確認できた場合は、写真⑤の姿勢のまま、フラッグを前に出し、床を2・3回たたくようなスグナルを示す。

- ④タイムアウト時は、写真①の姿勢で待機するか、その場に座ってよい。

長時間の試合や夏季の場合も含め、フリーゾーン外で水分補給なども忘れずに行う。

- ⑤セット間は、フリーゾーンで行われるチーム練習の邪魔にならないように、後ろに下がって座って待機するようにする。その際、フラッグは保持して移動し、コート上に残さない。